

早稲田大学 大学院法学研究科
2026 年度 修士課程入学試験問題（社会人入試）
【小論文】

社会人研究課題

「 国際海事問題の実務と法 」

次の各問から一問を選び、論述してください。

（答案冒頭に、選択した問題の番号を明記してください。）

- ① 国際海上物品運送人の責任制限（いわゆるパッケージ・リミテーション）の実務上の問題について
- ② いわゆるフレイト・フォワードナーなどの契約荷送人が、荷送人として実運送人と運送契約を締結する場合の、危険物に関する通知義務について
- ③ 定期傭船に供された船舶が衝突などにより第三者に損害を与えた場合の、船舶所有者および定期傭船者の責任について
- ④ MARPOL 73/78 附属書Ⅵの下での、GHG 排出規制制度の意義と課題について
- ⑤ バラスト水管理条約の意義と問題点について
- ⑥ 海上保険（貨物・船舶）では、外航と内航に間にどのような差があるか。またその違いが生じる理由について
- ⑦ 共同海損分担請求に対する抗弁または求償を可能とする事由について
- ⑧ いわゆるサレンダーB/Lの利用とその法的問題点について
- ⑨ 船荷証券と引き換えでない、いわゆる保証渡しの慣行と、運送人の責任について（運送品の全部滅失の場合の責任と同様に扱うかの視点も含めて）
- ⑩ 船主責任制限制度の今日的な課題について

以 上

答案の書き方（横書 / ■■） 六法全書の使用を（認める / ■■■■）